



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	さくらGS株式会社様 共同住宅 新築工事	階数	地上6F
建設地	横浜市港北区綱島東5丁目1203、1206	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日	2019年4月15日
敷地面積	1,600 m ²	作成者	三木暁
建築面積	606 m ²	確認日	2019年4月15日
延床面積	2,755 m ²	確認者	三木暁

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 近隣の建物に対して、大分高めではあるが、建べい率を60%に対して39.7%に押さえた。又外壁もタイル貼りとし圧迫感のない白から茶系の色彩とする。建物の周辺に4m~11M程度の空間を設け、植栽も中木と低木とした。隣地との境界部分も塀H600+メッシュフェンスとして風の通りを妨げない様にした。		特に何もしていない
Q1 室内環境 隣地より南側を4M程度バックさせ、南側と東側に開口を設けた。外壁側には断熱補強、硬質ウレタンを厚40吹き付け断熱効果を考慮した。南側をセットバックした事により風通しも確保した。	Q2 サービス性能 階高を2.91m以上確保し天井高H=2.400以上とした。これにより圧迫感を感じない空間とした。又RCのため夏涼しく、冬暖かくしている。又、インターネットにも対応できる環境としている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を囲う様に出来るだけ多く、緑地を設けた。
LR1 エネルギー 特に何もしていない	LR2 資源・マテリアル 特に何もしていない	LR3 敷地外環境 ゴミの再生に努めるためにゴミ置き場を設けた。又、風の通りをよくするために南側は直線としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



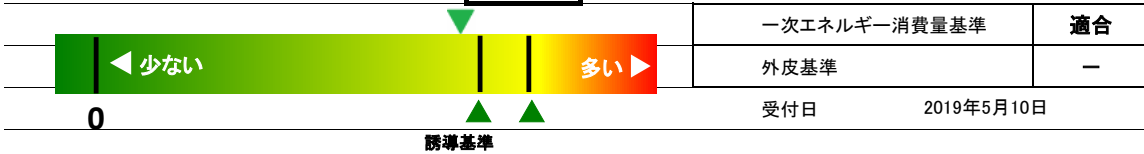
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。 建物名称 **さくらGS株式会社様 共同住宅 新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **15** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性能等級3以上

③LED照明を使用している

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑱信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境 ㉑まちなみ・景観 ㉒地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 さくらGS株式会社様 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境									2.9
1 音環境			2.0	0.15	3.0	1.00			2.8
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音			1.0	0.50	3.0	0.50			-
1 開口部遮音性能			1.0	1.00	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音			3.0	-	-	-			-
2 温熱環境			3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.71			-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	3.0	0.38			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.29			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境			2.6	0.25	3.0	1.00			2.9
3.1 昼光利用			4.2	0.40	3.0	0.40			-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	3.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策			1.0	0.40	3.0	0.40			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.20	3.0	0.20			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理			-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-			3.0
1 機能性			2.4	0.40	3.0	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	3.0	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	3.0	0.50			-
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-			2.8
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性			2.2	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.25	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	-	-	-	-			-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	3.0	0.25	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.25	-	-			-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	2.0	0.25	-	-			-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.5	1.00			3.4
3.1 空間のゆとり			-	-	4.0	0.50			-
1 階高のゆとり			3.0	-	4.0	1.00			-
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	-	-			-
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			-

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 31-019



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 さくらGS株式会社様 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 さくらGS株式会社様 共同住宅 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	2.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-		
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	1.00	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7		
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0		
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.60	-	-	2.5		
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
	1 消火剤			-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-		
	3 冷媒			3.0	1.00	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.4		
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-	3.7		
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-		
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				1.0	0.33	-	-	1.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-	-		
	1 騒音			-	-	-	-	-		
	2 振動			-	-	-	-	-		
	3 悪臭			-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				-	-	-	-	-		
	1 風害の抑制			-	-	-	-	-		
	2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制			-	-	-	-	-		
3.3 光害の抑制				1.0	1.00	-	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	1.00	-	-	-		
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	-	-	-	-		
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	3.0	-	-	-	-		